

報道関係者各位

ご案内

不妊当事者サポートと不妊治療・不育症治療の環境充実のために、活動中！

「不妊ピア・カウンセラー養成講座」リニューアルオープン 「どうする？教えて！病院選びのポイントアンケート2020」実施中

NPO 法人 Fine (Fertility Information Network=ファイン) <https://j-fine.jp/>

不妊患者をはじめ不妊で悩む方をサポートする、セルフサポートグループ「NPO 法人 Fine (ファイン)」は、不妊・不育症治療環境向上のためにさまざまな活動を行なっています。不妊で悩む人や不妊当事者の心のサポートに関心のある方に届くように、また、広く不妊・不育症治療について関心を持っていただけるように、ぜひ、貴媒体にて取り上げていただければ幸いです。

◆開講 16 年目「e ラーニング」リニューアル！不妊の心に寄り添うサポートを

日本初の不妊に特化した「不妊ピア・カウンセラー養成講座」は 2020 年 5 月 1 日より新システムへ移行し、さらに充実した内容にリニューアルします。中でも生殖医学部門の講座は、生殖補助医療の第一線でご活躍されている専門医 2 名に新たに担当していただきました。本講座は e ラーニングを導入しており、2005 年に開講以来 131 名の Fine 認定ピア・カウンセラーが誕生しています (2020 年 3 月現在)。

日本で不妊を心配したことがあるカップルは 3 組に 1 組、実際に不妊の検査や治療を受けたことがある (または現在受けている) カップルは、5.5 組に 1 組といわれています(※1)。近年、日本では不妊に悩む人が増えているにもかかわらず、「不妊」についてあまり正しく知られているとは言えません。そのため当事者は特別視されることも多く、不妊であることをなかなか周囲に告白できないという現状から孤独に陥りがちです。不妊は当事者にとっては大きな挫折であり、つらい体験でもあるためトラウマにもなりがちですが、自らの体験をいかして活動するピア・カウンセラーの存在は、不妊体験者が前向きに生活するモデルケースのひとつとして、注目を集めています。

◎Fine のピア・カウンセラー養成講座の特徴

「ピア」とは「同じ立場の仲間」という意味で、ピア・カウンセラーとは相談者と同じ心の痛みがわかる体験者 (当事者) として話を聴き、心の支えになろうという人たちのことです。本講座は、第一線で活躍する生殖心理カウンセリングの専門家や生殖医療の専門医を講師陣に迎え、本格的なカリキュラムで構成されています。孤立しがちな不妊当事者の心に寄り添うサポートをめざして、ピア・カウンセリングの心理的知識と技術を学ぶ、他に類を見ない講座です。また、不妊の啓発の一助となるよう、どなたでも 1 講座から受講可能です。これまでの受講生の声として、「自分の気持ちを整理することができた」「乗り越えられないと思っていた不妊体験だが、自分の不妊体験をプラスに考えられるようになった」など、不妊体験者をサポートするための学びが自分自身にもプラスになったというものが多くあります。

◎不妊ピア・カウンセラー養成講座「ライセンス取得 1 年短期集中コース」受講生募集中 (先着 15 名)

○通常の「ライセンス取得コース (2 年)」よりも 30,000 円もお得なコース

○申込み期間：2020 年 4 月 19 日～8 月 20 日 <https://j-fine.jp/e-pia/course2020.html>

◎「NPO 法人 Fine 主催 不妊ピア・カウンセラー養成講座 (e ラーニング)」の概要 <https://j-fine.jp/e-pia/index.html>

○講座数：基礎 24 講座、専門 36 講座、スクーリング 全 3 回 (6 日間)

○主な講師：平山史朗先生 (公認心理師/生殖心理カウンセラー/臨床心理士・日本生殖心理学会副理事長)

：小倉智子先生 (公認心理師/生殖心理カウンセラー/臨床心理士)

：渡辺浩彦先生 (醍醐渡辺クリニック院長)

：森本義晴先生 (IVF JAPAN CEO / HORAC グランフロント大阪クリニック院長)

NPO 法人 Fine(ファイン) ~現在・過去・未来の不妊体験者を支援する会~

○カリキュラム：<https://j-fine.jp/e-pia/curriculum.pdf>

○受講料：1 講座 3,000 円から ※コース割引あり

○申し込み方法：専用ウェブサイトから <https://j-fine.jp/e-pia/index.html>

○問い合わせ先：NPO 法人 Fine ピア・カウンセラー養成講座運営事務局 finepia@j-fine.jp

※1 国立社会保障・人口問題研究所「第 15 回出生動向基本調査」結婚と出産に関する全国調査より

http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12601000-Seisakutoukatsukan-Sanjikanshitsu_Shakaihoshoutantou/0000138824.pdf

◆納得できる治療とは！病院選びのポイントを探るアンケートを実施中

Fine では、2020 年 4 月 27 日から「どうする？教えて！病院選びのポイントアンケート 2020」をウェブサイトを開始しました。不妊治療では、体外受精などの高度な治療は、健康保険の適用されない「自費診療」で行なわれており、患者の大きな経済的負担となっています。そして治療を受けたすべての人が妊娠・出産に至るわけではありません。病院側は通院患者のためにできることを日々努力して提供していますが、患者はさまざまな負担を抱えながら治療を続けていくうちに、病院や治療に納得あるいは満足できずに、転院を繰り返す人は少なくありません。逆に、妊娠する・しないに関わらず 1 度も転院せずに治療を終える人もいます。その違いは何なのか、当事者にとって「納得できる治療環境」を明らかにしたいと考えています。また、アンケート結果はプレスリリースや学会発表などにも使用していきます。

【どうする？教えて！病院選びのポイントアンケート 2020】

URL：<https://questant.jp/q/EL42EYQ8>

(PC・スマートフォン・タブレット)

対象者：不妊治療・不育症治療を受けた（受けている・考えている）すべての方
アンケート締め切り：2020 年 7 月 31 日（予定）



アンケート用 QR コード

■設問の一部

Q：病院を選ぶうえで、どのような情報が知りたいですか？

Q：現在通院している（あるいは最後に通院した）病院のどんなところに満足していますか？

Q：病院に通ってから、どのくらいの期間で転院を考えましたか？

Q：転院した理由は何ですか？

Q：納得できる治療のために、求めたい治療環境はどのようなものですか？

□NPO 法人 Fine これまでに実施したアンケート（抜粋）

2010 年「不妊治療の経済的負担に関するアンケート」（回答者数/1,111 名）

2011 年～2012 年「どうする？ 教えて！ 病院選びのポイントアンケート」（回答者数/560 名）

2012 年～2013 年「不妊治療の経済的負担に関するアンケート Part2」（回答者数/1,993 名）

2014 年～2015 年「仕事と治療の両立についてのアンケート」（回答者数/2,265 名）

2017 年「仕事と不妊治療の両立に関するアンケート Part2」（回答者数/5,526 名）

2018 年～2019 年「不妊治療と経済的負担に関するアンケート 2018」（回答者数/1,576 名）

※参考：<https://j-fine.jp/activity/enquate/index.html>

～Fine 会員は約 2,400 名 Fine SNS 会員は約 1,950 名（2020 年 4 月現在）～

NPO 法人 Fine (ファイン) <https://j-fine.jp/>
〒135-0042 東京都江東区木場 6-11-5-201 TEL 03-5665-1605 FAX 03-5665-1606
* 常駐ではありませんので、できるだけメールにてお問い合わせいただければ幸いです
E-mail ◆NPO 法人 Fine 広報窓口：finekouhou@j-fine.jp